

## 第4回マーケティング研修

### 【青少年クラブ研修会～農大への出前授業『想い』は響いたのか！？～】

ついにその日が来ました。12月18日（金）に、松阪市嬉野の三重県農業大学校大教室において、「第4回マーケティング研修『農大への出前授業』」を開催しました。この研修は、三重県農村青少年クラブ連絡協議会（三重県4Hクラブ）が、「三重県農業大学校生への出前授業におけるプレゼンテーション」をひとつの目標に、マーケティングの基本やプレゼンテーションスキルを学ぶ場として、全4回開催しているものです。

出前授業では、「農業に対する『夢』『想い』」というテーマで、青少年クラブ員が農大生に対して農業の魅力・夢などを語りかけ、農業への興味を高めてもらうとともに、将来4Hクラブへ参加するきっかけづくりをすることを目指しました。

午後1時に、農大1年生25名が見守るなか、「出前授業」は静かにスタートしました。始めに伊勢志摩地区の中森さん、溝口さんが、日々の農作業の大変さを実感するなかで、客からの「ありがとう。おいしかったよ。」の一言に感動とやる気をもらう話を紹介しました。次いで、紀州地区の杉浦さん、西地さんが、地域の農業を守り伝える取組を披露しました。伊賀地区の稲森さんは、日本の食料自給率を向上させ、食卓を豊かにするため、「食の安全・安心」を担う使命を力強く語りました。鈴亀地区の中西さんは、「農業は自分が主体でできる素晴らしい職業である」ことを静かに投げかけました。最後に四日市地区の清水さん、豊田さんが、農業を生業とすることを選択する際の迷い、苦労、そして将来への想いなどを素直に表現しました。

青少年の発表の間も、その後の質疑応答でも、学生たちの反応はいまひとつです。青少年の言葉は、農大生の心には響かないのか。不安と落胆のなか、授業後に回収したアンケートを見て、息を呑みました。そこには、授業に好感を抱く学生の反応がずらりと並んでいました。「もっと話を聞きたい！」「面白かった！」「青少年の経営を見たい！」など、予想を上回る反響の言葉が……。見回すと、授業後の教室のあちこちで、時間を忘れて青少年と話し込む学生の姿がありました。間違いなく、青少年たちの言葉は学生の心に届いていたのです。1時間の授業、しかも初めての取組では、青少年の想いは十分に表現できなかったでしょう。しかし、言葉を超えて届く「想い」があることを、今回の出前授業は証明しました。まだまだ課題はありますが、この架け橋を大切に、次につなげていきます。とりあえず、青少年の皆さん、学生の皆さん、お疲れ様でした。ありがとう。



（想いを語る青少年）



（学生の反応は？）



（青少年の生産物も展示）